



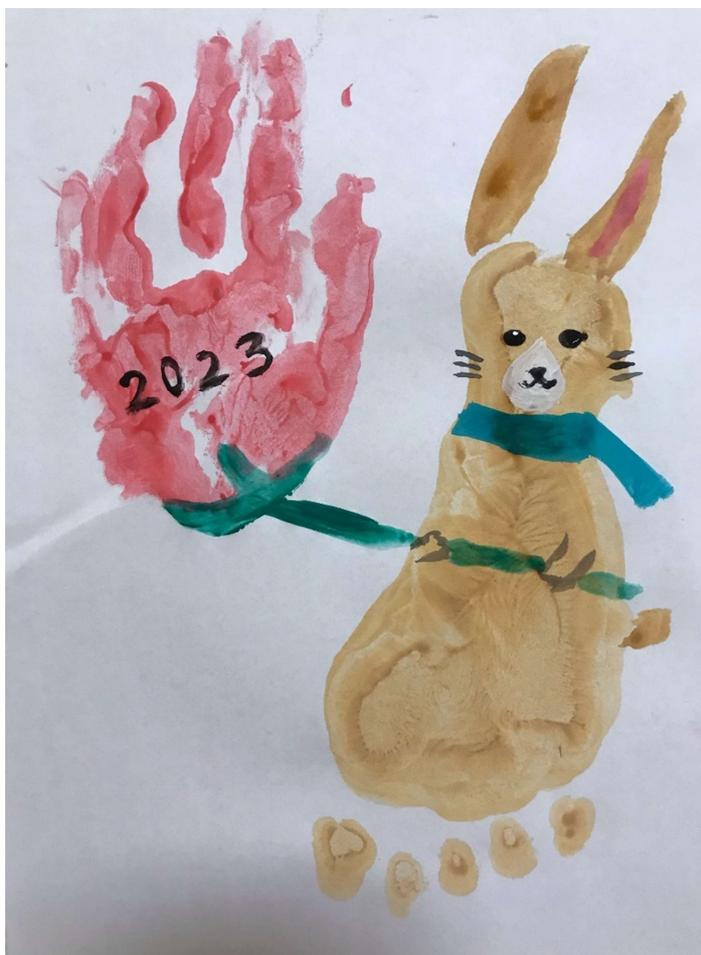
令和 5年 1月 1日

# 父母の会だより

## 第51号

### 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会

〈発行責任者〉 豊橋市杉山町向井 24-2 中神 達二 TEL/ 0532-23-3217  
FAX/ 0532-23-4830 E-mail/rsa34375@nifty.com



#### 目次

1. 新年のごあいさつ……………1
2. 全肢連全国大会報告書……………2
3. 全肢連全国大会感想文……………4
4. 成年後見制度について……………7
5. わいわいカーニバル・水泳大会報告……………9
6. ポッチャ大会報告……………10
7. さくらピア防災講演会……………11
8. 愛知県心身障害(児)者福祉大会……………12
9. 豊障連文化祭……………12
10. 東三河療育キャンプ実施報告書……………13
11. 友だち紹介……………14
12. 今後の行事予定・あとがき……………15



「手形と足形で～干支のうさぎ～」 愛知県立豊橋特別支援学校 小学部5年 佐藤 志菜

ホームページ <https://fubonokai-toyohashi.com>



父母の会公式 LINE

## 新年のごあいさつ



会長 中神 達二

新年あけましておめでとうございます。

兎年の新しい年をみなさまいかがお迎えでしょうか。兎は干支の4番目に位置します。兎年生まれは優しく、親切で、忍耐強く、責任感があると言われていますが、表面的で頑固な一面もあるようです。跳びはねる姿から「飛躍」、また草木が地面を蔽うような状態を表していることから新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。

父母の会は昭和36年9月創立以来60周年を迎え、昨年6月に記念式典を開催し、記念誌を発行することが出来ました。また9月には8年前に続いて全肢連全国大会を豊橋で盛大に開催しました。両行事ともコロナ禍で規模縮小となりましたが、日頃のみなさまのご支援、ご協力のお蔭であり深く感謝申し上げます。

新型コロナも3年目に入り、体温測定、マスクの着用、三密の回避等感染防止に努めながら、行事内容の見直し、ZOOMを活用したりリモート等で対応をしています。3年ぶりに復活したクリスマス会でのユースオーケストラの演奏会やホテルでのランチと映画鑑賞、成年後見制度の勉強会等です。これからも感染予防を踏まえた新しい日常生活を考えて行動していかねばなりません。

豊橋市は昨年5月より、看護師が医療的ケアの必要な子供たちを学校等に訪問支援する障害児看護支援事業が義務教育を超えた高校等にも拡大されました。利用者は現在13名で、とても意義のある事業であり今後ともPRしていきたい。

国の福祉施策は2014年に批准した障害者権利条約について昨年国連の障害者権利委員会の対日審査が行われ、障害児の普通学校への通学保障、精神科への強制入院等が指摘勧告されました。近頃障害児の地元小中学校への通学も増えて来ており、これからの施策を注視していきたいと思えます。

本年も児童部や特別支援学校・施設関連を中心に会員増強を図り、活力のある組織づくりに努め、会員相互の親睦、相談体制の充実、必要な制度の見直し要望等、福祉の発展に微力ながら努力してまいります。

本年度もご支援者はじめみなさまの温かいご支援、ご協力を賜りますよう引き続きよろしくお願い申し上げます。

令和5年元旦



あけまして  
おめでとう

# 第55回全肢連全国大会 報告書

令和4年度 第55回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会(第57回東海北陸肢体不自由児者父母の会連合会愛知大会)が、令和4年9月10日(土)、豊橋市ロワジールホテル豊橋にて新型コロナウイルス感染症対策を行いながら開催されました。

全国の会員301名、資料参加者25名、配信参加者33名、ご来賓54名、ボランティア40名と、コロナ禍にも関わらず多くの参加者が豊橋市に来てくださいました。

今回は『住み慣れた地域で自分らしい生活ができる共生社会の実現!』が大会のテーマでした。総司会は元CBCアナウンサーで現在はフリーでやられている大橋麻美子さんをお願いしました。

開会式では全肢連清水会長より、3年ぶりに対面での全国大会ができることを喜ぶお言葉をいただき、ご来賓からも多くの励ましのお言葉や今後の施策についてのお話をいただきました。

そして基調講演としてバリバラでおなじみの玉木幸則氏と田原市障害者総合相談支援センターセンター長の新井在慶氏によるトークセッションでは「誰もがともに生きていくことができるまちづくり」～本当のインクルージョンをめざして～というタイトルで玉木氏の幼少期からの体験を交えてお話されました。この大会の前日に日本は国連から特別支援教育によって、障害のある児童生徒が通常環境での教育にアクセスできず、隔離された状態が永続化していることに懸念を示すなどした勧告を発表したこともあり、このことについても熱く語られていました。

また、当初は東三ブロック児童部のスタッフによる寸劇をホールステージにて披露される予定となっていたのですが、感染防止のため縮小開催したことにより残念ながら収録での発表となりました。この動画は夜の食事会会場にて上映されました。

「わが子の近未来」と題して、それぞれのお子さんの介助や介護での普段の困りごとをお母さん方が演じることで、こんな風にICTやAIがもっと発展していつもらえたらいいのにな…と訴えかけていました。非現実的な願望もありましたが、日々ご家族がどんなふうに不便を感じて、どんな工夫があれば助かるのか?うまく伝えられていたと思います。



玉木幸則氏

最後は分科会。こちらも準備段階では第一分科会～第四分科会まで当日開催する予定でしたが、実際に感染対策のためには開催の仕方を変更しなければならないのでは?との声が上がリ、実行委員でその対応を考えた結果一番参加希望の多かった第三分科会の「大地震に備える」については、全体会を行うホールにて当日参加されている方々に向けて行い、他の分科会については後日収録をし視聴希望者に配信をすることにしました。

第一分科会は「肢体不自由児者に期待されるICTの活用」、第二分科会は「教育現場は今」、第四分科会は「肢体不自由者の福祉的就労と一般就労」というテーマでそれぞれの講師からお話を伺ったり、ディスカッションしたりという形で、対面では行わず、リモートにて収録をさせていただきました。

そして第三分科会は4人の講師にお話をいただきました。わだちコンピュータハウスの元所長水谷真氏、豊田市防災対策課 町屋弦一郎氏、岡崎市福祉部ふくし相談課 齊藤哲也氏、地元さくらピア事務長 本田栄子氏からのお話は、全体の時間を短縮させていただいたことで物足りなかったという声もありましたが、それぞれのお立場のお話はとても参考になりました。特に岡崎市では本年度モデル事業として「災害時個別支援計画」を作成するという試行錯誤されているようです。今後それがしっかりとした形になり豊橋市でも参考にさせてもらえる日が来るよう願っています。

閉会式では今回全肢連会歌に加え元気になれる応援歌を心魂プロジェクトさんにお願いし、作っていただいた歌のお披露目がありました。そして大会決議文の採択のあと来年度の開催地である全国大会の岡山県、東海北陸の開催地である静岡県からそれぞれご挨拶をいただき、全肢連の植松副会長から閉会宣言がされ全国大会は幕を閉じました。

尚、今回心魂プロジェクトのデリバリーパフォーマンスは翌日11日曜日に予定通り開催されましたが、閉会式後の開催のため、「アフターイベント」としてのデリバリーパフォーマンスとなりました。

今年の夏インディーズバンドのコンテストで日本一になってドイツで開催された世界大会に出場した心魂プロジェクトの一員である「パノラボ

とラボラトリー」のお二人も来場され生演奏で寺田さんと有永さんの歌のパフォーマンスは夢のようでした。

残念ながら著作権の問題があるため、心魂さんのパフォーマンスは収録配信ができませんが、また豊橋に来ていただきパフォーマンスをしていただける日がくるといいな…と思います。

今回、託児としてのケアルームには豊橋特別支援学校の先生方がボランティアとして子どもたちを一日たのしく過ごさせて下さり、ほんとうにありがとうございました。感染対策をしながらの支援だったのでとても大変だったと思います。豊橋創造大学からは、地域貢献の一環として多くの学生のみなさんが案内係等でボランティアとして活躍して下さいました。



学生ボランティアの皆さん

そして、こども訪問看護ステーション「with」さんには二日間通して参加者の体調変化の対応をしてくださったことで、参加者も安心して過ごすことができました。

また、コカコーラさんからのドリンクのサービスに加え、「授産所ふくふく」「童里夢・奏楽」「ユアケミスト」の3事業所の協力をいただき、参加者が休憩時間も退屈することなく、手作り品等のお買い物を楽しむ時間を作って下さいました。

多くのみなさんのご協力・ご支援のお陰で今回の全国大会は盛況に終えることができました。父母の会スタッフに加えご参加くださった皆さんも本当にありがとうございました。

## 第 55 回肢体不自由児者父母の会連合会全国大会全国大会 第 57 回東海北陸肢体不自由児者父母の会連合会愛知大会に参加して

石田 湧一(ボランティア)

令和 4 年 9 月 10 日に第 55 回肢体不自由児者父母の会連合会全国大会、第 57 回東海北陸肢体不自由児者父母の会連合会愛知大会、9 月 11 日にはアフターイベントがロワジールホテル豊橋で行われました。今回はコロナ禍ということも考慮されて、一部配信を行い、ハイブリッド開催という形でした。

今年のテーマは「住み慣れた地域で自分らしい生活ができる共生社会の実現！」でした。そこで、私は撮影スタッフとして参加させて頂きました。

基調講演では、「誰もがともに生きていくことができるまちづくり」をテーマに玉木さんと新井さんに講演頂きました。

講演は玉木さんの生い立ちと絡めて、社会の考え方の移り変わりへと進んでいきました。その中で「インクルーシブ」という言葉が何度か出てきました。インクルーシブは、「包括的、物事全体を包みこむ」という訳から「仲間外れにしない、みんな一緒に」という意味で使われています。

講演を聞く前は、インクルーシブはとても前向きな言葉として捉えてきましたが、講演を聞いているうちに、立場によって意味が変わってくる様に感じました。人間にはそれぞれに個性があって、能力に差があって、個性の差を埋めるために、時には特別扱いと捉えられるような支援が必要だと思いました。

仲間外れになる人が出ない社会の実現はとても難しいことであると思いますが、障がいの有無にかかわらず、一人でも多くの方が適切な支援を受けられて、共生社会と呼ばれる分け隔てなく、それぞれの進みたい道へ進んで暮らすことのできる社会が実現するとういいなと感じました。

第 3 分科会では、「大地震に備える」をテーマに、水谷さん、町屋さん、斎藤さん、本田さんに講演頂きました。

僕の場合、地震等の災害時のことは家族内では話し合いをしてきましたが、高齢者や車いす使用などの様々な環境に置かれている方々のことは、なかなか情報を得ることはこれまで機会が無かった為、新しく知ることが多くありました。食料やトイレ等、自分たちには十分だと思っていたことが、それぞれの事情によって十分では無かったのだと感じました。

自治体の取り組みだったり、防災訓練だったり紹介頂き、自分の住んでいる自治体がどのような取り組みをしているのか、改めて調べて知ることから始め、いざとなった時に十分に活用できるように知識の準備もしておこうと思いました。

今回の全国大会は、基調講演と第 3 分科会の 2 つの講演が行われ、第 1, 2, 4 分科会は後日配信となりましたが、今回の 2 つの講演は、衝撃を受ける瞬間が何度もありました。とてもいいきっかけになりました。また、コロナ禍で家族以外と会う事を躊躇う日々を過ごしてきましたが、このような機会を頂き、様々な方々とお話し出来たことにうれしく思います。開催の判断が難しい時期であったと思いますが、開催を決断して頂いてありがとうございました。

アフターイベントでは、心魂プロジェクトの皆さんによるパフォーマンスが行われました。コロナが広がってからは、初めての対面によるパフォーマンスになったそうです。

心魂の皆さんのパワーには毎回驚きます。会場の雰囲気が最初の音からガラリと変わります。まだまだ制限の多い中で、あそこまでのパフォーマンスを見ると楽しいを通り越して、涙が出てきました。最高のパフォーマンスとみんなの最高の笑顔をありがとうございました。

## 全肢連全国大会に参加して

始まる前に豊橋の映像が流れて良かったです。コカコーラさんから飲み物をいただき、美味しかったです。食事会のときに一緒に食事をした方がこれから行われるさくらピア、あイトピアのイベントについて話してくださいました。お話が聞けて嬉しかったです。

11日に行われた心魂プロジェクトの演奏があまりにも大きく、私の耳が耐えられなかったので看護師さんにお世話になりました。感謝しております。

松井美穂

## 9/10～11日の父母の会全国大会に参加して

10日の土曜日のシンポジウムについては、初めてこのような講演に参加し、大変勉強になりました。私も県や国や市に対して主張したいことを考えて生きていこうと思いました。また、私や家族がどうやって避難するのか考えるきっかけとなりました。

11日の日曜日については、すごく心が弾みました。コロナ後、コンサートに行くのは初めて。歌、ドラム、キーボード、生で最高でした。手をたたいたり、心の中で歌ったり、リズムにのれました。特製シャツを着ている人がたくさんいて一つになりました。また近いうちに心魂さんにあイトピア等でコンサートをして欲しいです。

看護師さんへ、妹が大変お世話になりました。看護師というより医療関係者がいるコンサートは珍しく、助かりました。また妹が音にびっくりする、という事が分かり勉強になりました。

コロナ禍だけど開催され参加できて良かったです。ほかの地域の障害者当事者とも、もっと交流できると良いと思いました。いつかまた、父母の会全国大会が豊橋で開催されることを願います。また数年後のアビリンピックにも行きたいです。

松井理恵



食事会

## 全肢連全国大会に参加して

『第55回 全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会』に参加しました

初めて全国大会に参加させていただきました。全肢連歌「太陽と共に」はずっと歌い継がれてきたという歴史を感じました。そして新曲の全肢連応援SONG「笑顔をつなごう！」は明るくて素敵な歌ですね。これから歌い継がれていくのが楽しみです。

トークセッションでは、大会前日に国連が日本政府に障害児の分離教育中止を要請したというリアルタイムの話をされました。私は息子が小学校就学前に地域の学校や就学相談で言われたことを思い出し、また毎日楽しく特別支援学校に通っている今を思うと複雑な気持ちになりました。それに自分の考えは古いのかもと考えさせられました。

アフターイベントは親子で楽しみにしていた心魂プロジェクトのデリバリーパフォーマンスでした。やはり生歌はいいですね。とても心に響きました。

今大会の運営にご尽力いただきましたスタッフの方々に感謝いたします。

島田 育己(侑歩:母)

## 父母の会全国大会に参加して

今回、第55回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会が無事に開催された事、本当におめでとうございました。また、この豊橋で再び開催され各関係謝様の方々の多大なるご配慮、誠にありがとうございました。素晴らしい内容にとっても勉強になりました。

8年前、豊橋で全国大会開催されると聞き初めて参加した事を思い出します。

当時は特別支援学校に入学した年でまだまだ生活にも子育てする心の余裕もなく、何か少しでも情報を得たい気持ちから参加しました。

あれから8年後、今回はあの時とはまた少し成長した自分となり、気持ちの余裕が出来た中での参加だったので、講演内容や災害のお話がとても興味深くゆったりとした気持ちで聞く事ができました。

『住み慣れた地域で自分らしい生活出来る共生社会の現実』

私の娘も卒業後に向けて考えていかなくてはいけない年齢になり、どうしたら親も子供もハッピーな子離れ親離れ出来るのか。どういう形だったら安心して子供が幸せに生きていけるのかをテーマに仲間と共に話しはじめました。

そんな矢先のこの全国テーマに玉木さんのお話、その中でも「ありのままで良いのに健常に近づけようとしていた」という言葉が私の心にささりました。障害のある人もない人も共に生きる社会、地域で暮らすということ。ありのままに。シンプルにそういう方向性が形となった時に安心して子供達が幸せに生きれるのかなと思いました。

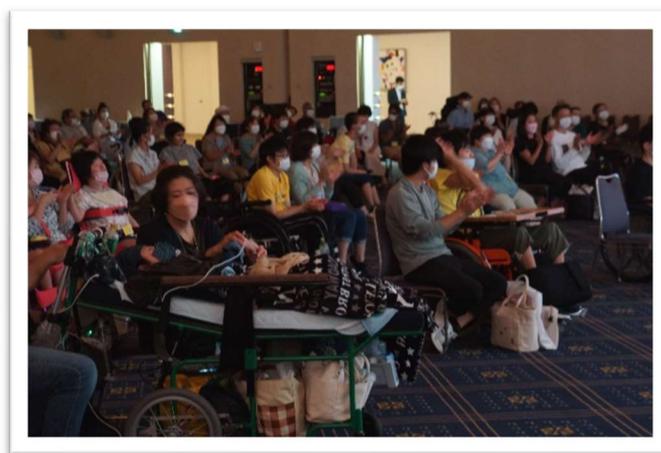
声なき声を上げていく事で少しずつでも形が出来たらと願う1日となりました。

また、災害についても改めて具体的にリスト化、準備をし命を守る事へと繋ぎたいと思います。

最後に心魂さんの心に響く歌声、こちらに寄り添って下さった心魂さんのおもてなしに感謝、感動の連続でした。

貴重な機会に参加させていただき、本当にありがとうございました。

小山亜弥香(未結、結心:母)



心魂プロジェクトによるデリバリーパフォーマンスの会場より

(講師:豊橋市成年後見支援センター 係長 古地英明氏)

成年後見制度の勉強会を 2022.11.23 日に会員 24 名が参加し開催しましたので報告します。

**【成年後見人制度】** ⇒認知症や知的障害などで判断能力が不十分と判断された方が不利益を被らないように支援する制度。

**法廷後見制度** ⇒本人や家族ら(4 親等以内)が利用を申し立て家庭裁判所が選任する。(当初は親族が約 9 割と多かったが、現在は弁護士ら専門職が約 8 割を占める)

- ・成年後見人⇒本人に判断能力がない場合
- ・保佐人⇒判断能力が不足するものの日常生活に支障がない場合
- ・補助人⇒判断能力に不安がある場合

**任意後見制度** ⇒本人が十分な判断能力があるうちに後見人やその権限を自分で決め、任意後見契約を締結し(公正証書作成)、本人の判断能力が不十分になった後に、任意後見人が事務を行う。

**【\*法人後見制度】** ⇒豊橋市社会福祉協議会が後見人等になる制度。

成年後見制度は高齢社会を支え、本人の自己決定を尊重する狙いから 2000 年に介護保険とともに導入された。ただ後見人に支払う報酬や煩雑な手続きで利用は 21 年度で約 4%にとどまる。

現在の仕組みは利用を開始すると原則と途中でやめたり出来ないため、必要な時だけ使えるようにする等柔軟に対応ができるように検討されています。

『**成年後見制度の主な課題**』 ⇒2026 年度までに民法改正を目指しています。私たちも声を出して改善をお願いしていきましょう

- ・利用し始めたら、後見人を途中で替えるのが難しい⇒新旧後見人の了解により可能
- ・必要がなくなっても、症状が改善しない限り、死ぬまで利用をやめられない
- ・後見人に報酬を支払い続けなければならない、経済的に不安。報酬額に明確な基準がなく、いくらかかるか分かりにくい(月 2~6 万円程度)⇒家庭裁判所が判断し、報酬額を決定する
- ・本人や家族の意思を尊重しない後見人がいる⇒現状では社会的にも改善されてきている
- ・財産管理だけで身の回りの支援をしてもらえない
- ・福祉と連携していない
- ・手続きが煩雑で利用しづらい 等

**【後見制度支援信託】** ⇒後見制度による支援を受ける本人の財産の内、日常的な支払をするのに必要な金銭を預貯金等として後見人が管理し、通常利用しない金銭を信託銀行等に信託する仕組みのこと。

**【日常生活自立支援事業】** ⇒豊橋市成年後見支援センターが、軽度の認知症や知的、精神障害のある方の日常生活を支援するため、ご本人との契約に基づいて①福祉サービスの利用援助②金銭管理の手伝い③重要書類の預かり、等を行っている。

中神



勉強会風景

## 成年後見制度についての勉強会の報告

2022年11月23日

小林将貴

11月23日に豊橋市成年後見支援センター 古地(ふるち)英明さんより、成年後見制度についての勉強会があり参加いたしました。

障害児をもつ親は、親亡き後に子が生活できるのか、どのように生活していくのか、常に不安に思っていると思います。そのときに考えるべき制度の一つが、成年後見制度です。

成年後見制度を利用することにより、金銭や不動産などの財産管理や、介護サービスや施設入所などの契約行為を本人に代わって成年後見人が行うことができますようになります。申し立てにはおおよそ1万7千円程度かかり、家庭裁判所が決めた金額を毎月報酬として支払います(月におおよそ2~6万円)。成年後見人の申し立てをすると、取り下げることはできません。後見人には、親族後見と第三者後見(弁護士などの法律の専門家や社会福祉士など)あるそうですが、親族後見では金銭の使い込みなどの問題が多いため、最近は第三者後見が増えているそうです。成年後見人は一度つけてしまうと、本人が病気などから回復し判断能力が戻ったりしない限り、外すことはできません。

成年後見制度には法定後見制度以外にも任意後見制度があります。任意後見制度を使うと本人が必要な判断能力がある間に、将来判断能力が不十分になった時の後見事務の内容と代理人(任意後見人)を、事前の契約で定めておくことができます。子が未成年の場合に、父親と母親をお互いにたすきがけで子の任意後見人にすることができるそうですが、法律的な解釈はまだ定まっていないということでした。任意後見制度は任意後見監督人をつける必要があり、その分、費用がかかるため、利用されている方は限られています。

豊橋市成年後見支援センターでは、個別の相談や申し立ての書類作成の手伝いなどを行ってくれるそうですので、詳しく話しをされたい方は事前に連絡の上でお越しください、とのことでした。

成年後見制度は申請が大変であることや、後見人が最終的に家庭裁判所で決められてしまうこと、一度後見を始めてしまうと取りやめることができないといったデメリットがあるため、正直なところ使いやすい制度とは思いません。しかし、いつかは親が先に亡くなるであろうことを考えると、どこかのタイミングで利用することは避けられないと感じました。今回の勉強会をきっかけに、いつ、どのタイミングで成年後見制度をおこなうのが娘にとって一番良いのか、夫婦で話し合ってみたいと思います。

最後に、令和5年3月に任意後見制度と死後事務委任契約についての勉強会も開かれるということでした。ご興味がある方はぜひ参加してみたいと思います。

## 【愛肢連行事】

# わいわいカーニバル 2022 開催!!

2022.10.29 あいトピア

わいわいカーニバルが10月29日開催されました。

今年もコロナ感染予防を踏まえ、例年のような行事は実施できず、会場を分散(主会場の岡崎や豊橋、一宮等)、または自宅でのオンライン参加です。豊橋では豊橋会場(あいトピア 多目的ホール)に25名の方が参加されました。

開会の挨拶後、心魂プロジェクトさんが今年の全国大会(豊橋)で作詞作曲していただいた全肢連応援ソング「笑顔をつなごう!」に合わせて体を動かし(準備体操)、ビンゴ、じゃんけんゲーム、○×ゲームに挑戦しました。参加者に笑顔がこぼれ楽しいひと時を過ごしました。その後は三河高校の生徒さんたちによる三河乱舞を観賞しました。

コロナ禍の時代、まだまだ安心して行事が開催できず楽しむ機会も少なくなっています。これからも感染防止に十分気を付けやっていきたいと思います。

中神



\*感想文を書いて頂きましたので、紹介します

## 【わいわいカーニバルに参加して】

今日はわいわいカーニバルに参加させていただきました。あいトピアでオンラインだったので参加しやすかったです。

○×クイズの時にみんなの前で問題を出したので少し緊張しました。今まであまりしたことがなかったので良い経験になりました。ビンゴ、じゃんけんゲーム等楽しい時間を過ごせました。

また機会がありましたら参加したいと思います。参加賞等のお土産もいただき、ありがとうございます。

小池優加梨

## 速報



### ・いちご一会栃木国体

25m背泳ぎ優勝・50m自由形優勝!

### ・第39回日本パラ水泳選手権大会

50m背泳ぎ優勝・50m自由形優勝!

鈴木晶子さん



令和4年10月に宇都宮市で開催された、いちご一会栃木国体で鈴木晶子さんが25m背泳ぎと50m自由形で優勝。長野市で11月に行われた日本パラ水泳選手権大会でも50m背泳ぎ、50m自由形で優勝されました。おめでとうございます!本当にすごいですね。詳しい報告や感想等は次号で紹介させていただきます。



令和4年度

- ・障がい者スポーツ栃木大会ボッチャ優勝！
- ・第17回浜松ボッチャ大会 準優勝！

金田大輝さん



金田大輝さんが障がい者スポーツ栃木大会ボッチャ大会で優勝、浜松で行われたボッチャ大会で準優勝されました。おめでとうございます！金田さんから浜松ボッチャ大会の報告をいただきました。

## オープンクラスの報告

僕は5月14日(土)「第17回浜松ボッチャ大会」浜松アリーナにてオープンクラスで準優勝しました！また頑張りたいです。父と母は、他コートの審判をしてほとんど試合を見ていませんが、自分ひとりで戦う競技なので、頭で考えながらボールを投げました。田原では、衣笠市民館で火、水、木曜日に練習しています。

※オープンクラスとは、パラリンピック対象外選手のことです。



左が金田さん 浜松ボッチャ大会にて



田原市長と金田さん  
栃木大会に行く前の市長表敬訪問

【豊障連行事】

# さくらピア防災講演会 2022

令和4年4月9月24日

於：さくらピア

毎年行われていたさくらピア避難所体験、今年は「川について考えよう」と「災害にも役立つソロキャンプの知恵」です。新型コロナ禍の現在、参加者を30名に絞って実施されました。

それぞれ興味深い議題であり、そのポイントを報告します。

## ① 川について考えよう(講師:河川課:近藤氏・丸山氏)

- ・2022年は、地球温暖化の影響か日本列島のあちこちで集中豪雨による災害が起きていて、昨日(9/23日)も台風15号により静岡で道路に水があふれ家屋損壊、床上下浸水、断水等大きな被害が出ています。
- ・日本の降雨量は世界平均の2倍となっています。
- ・川の働き3本柱は  
1.治水(大雨を安全に海に流す) 2.利水(田んぼや畑等の活用) 3.環境保全で私たちの日常生活に非常に重要な事です。
- ・1時間に降る雨の量の基準は  
5~10mm(水たまりができる)、10~20mm(地面が一面水たまり)、20~30mm(土砂降り)、30mm以上(道路に水が溢れる)となっています。
- ・洪水ハザードマップの活用⇒大雨により河川が増水・氾濫した場合の浸水の範囲深さ及び各地区の避難場所を示したもので、洪水に備えて市のHPや防災ラジオで近くの川がどの状況か確認し、避難経路、場所を知っておくことが必要。
- ・豊橋ほっとメールの登録⇒無料で防災・避難情報等が配信される。是非登録し万が一の時に備えておきましょう。
- ・避難情報・警戒レベル4が発令された場合は速やかに全員避難場所に避難しましょう。

## ② 災害にも役立つソロキャンプの知恵(講師:モンタニア:牧野氏)

- ・避難生活にも役立つキャンプ用品が紹介されました。
- ・今回は寝具と食事についての防災用品等具体的なお話がありました。
- ・寝袋はいろんな種類があり、各自の希望に沿ったものを選ぶことが必要。レスキューシートは掛け布団にもなるという話もありました。
- ・保存食等もいろいろ考えられてきていますが、山や沢の水を簡単にウィルスやバクテリアをほぼ除去できる浄水ボトルはとても興味を持ってました。(時間8秒、除去率99.9%)
- ・また普段歯みがきが難しい子どもたちの口腔ケアに飲み込んでも大丈夫なゼリー状の歯みがき製品は障害が重たい子どもたちには大変有効だと思いました。
- ・キャンプ用品の道具が揃っていると避難時の生活に役立ちますとお話しされました。
- ・防災用品は近代著しく進化しています。

中神



# 受賞誠にありがとうございます!!

## 第40回愛知県心身障害(児)者福祉大会

今年の心身協福祉大会は県社会福祉会館で表彰式のみ実施され、下記の方たちが受賞されましたのでご報告いたします。

<知事表彰>

(自立更生者) 鈴木晶子

<会長表彰>

(自立更生者) 石田 準



## 第22回豊障連文化祭

2022.11.15~11.20 さくらピア

今年の文化祭もコロナ感染予防を踏まえ昨年同様作品展が開催されました。

作品は障害児者団体、施設関係、サークル活動等、各自腕を競って作製した絵画、さおり織り、書道、和紙工芸、寄せ植え等多くの作品が展示されました。

父母の会からはふくふく、笑い太鼓の皆さんが作品を展示してくれました。心のこもった素晴らしいものばかりで参加者は感心しながら見て廻っていました。

コロナの感染防止が一日も早く収束し通常の文化祭を楽しみにしたいですね。

なお、さくらピアが開設から40周年になり、1Fロビーでは40周年の歩みが展示されていました。



文化祭



ふくふくの皆さんの作品



笑い太鼓の皆さんの作品

## 東三河父母の会療育キャンプ実施報告書

2022.11.20

於: ホテルシーパレスリゾート

今年の東三河療育キャンプはコロナの感染防止に十分配慮しマスクの着用や三密を避けて11月20日にホテルシーパレスリゾートで映画鑑賞と食事会を開催しました。総勢58名の参加です。今回の映画鑑賞は障害児者のきょうだいについて、実際にきょうだい児たちが制作した映画・題名「ふたり～あなたという光～」を鑑賞し、それぞれの思いについて考えるきっかけづくりになればと企画しました。みなさんいかがだったでしょうか。



その後はテーブル席を囲み、家族毎に黙食で少しリッチにランチを楽しみました。とても美味しくいただきました。コロナ禍でなかなか出かけられず疲弊する日常が続いていますが、介護で頑張っているお父さん、お母さんの方に少しは安らぎの時間をもってもらえたと思います。今までと違ったこんな療育キャンプも良いかなと思いました。

中神

### \*感想文\*

障害児のきょうだいにクローズアップされる機会があまりないように感じていたので、今回の映画を楽しみにしていました。実際拝見して、共感できる点が多々あり、あまり人に理解や伝えることのなかったモヤモヤが映画という形で表現されていて自分の心の中の課題が見つかり整理されました。

これからもこのような映画というかたちを通して世の中の人に広く障害者の存在を知ってもらい偏見や差別が少しでもなくなる世の中になればと思います。

中林夕貴



東三河療育キャンプ  
食事会



# 友だち紹介



**服部 叡亨**  
(はっとり あきたか)

【学校名・学年】  
豊橋特別支援学校  
中学部 1年

【年齢】 13歳

**【好きな事・物】**

散歩 ブランコ ドライブ  
音が鳴る光るおもちゃ

**【趣味・得意なこと】**

笑顔で御破算

**【がんばっていること】**

青い鳥のリハビリ  
お父さんお母さんのお店の手伝い

**【みんなに言いたいこと】**

なんでもいいので自分のPRをしてね！  
よろしくおねがいします。



**池田 照文**  
(いけだ てるふみ)

【通所・勤務先】  
特定非営利活動法人  
てのひら・陸

**【好きな事・今後の夢】**

ずっと元気で陸に通って仕事がしたい

**【趣味・得意なこと】**

カラオケ

**【がんばっていること・好きなこと】**

休まず事業所に通って仕事をして、仲間の人と  
楽しく話をする事



**藤田 未来**  
(ふじた みく)

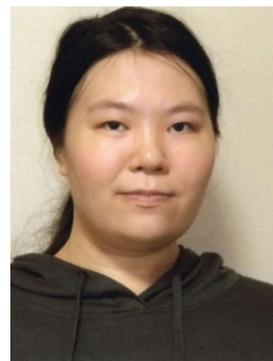
【年齢】 30歳

【通所先等】

春日塾、もくせいの花、  
信愛医療療育センター  
めぐみ・同センターの日中

**【好きな事・今後の夢など】**

音楽が大好きでディズニー系がかかると声を出して喜んだりします。  
テレビの前でYouTubeのディズニーランドをよくみてます。  
ドラえもののどこでもドアがほしいな！というのが未来の夢！！



**松井 美穂**  
(まつい みほ)  
【年齢】 28歳

【好きな事・今後の夢  
など】  
雑誌を見ること

**【趣味・得意なこと】**

花を花びんに生けること

**【がんばっていること】**

料理を作ること。作れる料理を増やしたいです。



## <今後の主な行事予定>

**1月 7日(土) ○はたちのつどい・あイトピア**

**3月19日(日) 豊障連&北ライオンズクラブ懇親ボーリング大会**

**3月25日(土) 定期総会・あイトピア**

○印の参加募集はありません



**※予定は順次ご案内いたします。急な変更・中止となる場合がございます。ご了承のほどお願い致します。**

### ☆あとがき☆

・今回の表紙は佐藤志菜さんの作品です。素敵な作品をありがとうございます。

・「父母の会ふれあい短期介護支援」「父母の会入院付添い支援」を活用しましょう。短期介護支援や入院付添い支援は緊急時や入院時に見てもらう人がいないとき、同居以外の親族等にみてもらい、その介護支援費用（1日4時間以上・5,300円）のうち4,500円を父母の会で負担するものです。使ってみたいと思われた時、分からない事があった時には遠慮せずにご相談ください。会員の皆さまのご意見、ご要望を受けてより利用しやすい事業にしていきたいと思っています。

- ・父母の会相談員は中神達二、鈴木智江子、後藤久代、星川広江、磯田周平、尾崎博美、奥平久美子です。悩み事・心配な事、何でも気軽に相談してください。
- ・原稿や感想文を寄せていただいた方には、クオカードまたは図書券をプレゼントしています。積極的に投稿をお願いします。
- ・新会員も大募集中です。隣近所でまだ父母の会に入会されていない方がありましたら是非ご紹介ください。手帳をお持ちであれば障害の種別は問いません。
- ・年会費は¥2,000です。年会費は振込みも出来ます。年会費がまだ納めてない方は下記の振込先に振り込みをお願いします。（できるだけ同封しています振込用紙をご使用ください）

ゆうちょ銀行 口座番号 00840-1-135126 加入者名 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会  
ゆうちょ以外の銀行等からの振込の場合 ゆうちょ銀行:店番 089 口座番号 0135126 口座名:同上

### <お願い>

・いろいろな行事について出席のご返事のあと変更になった場合は 中神 まで電話または FAX かメールにてご連絡お願いいたします。

TEL : 0532-23-3217

FAX : 0532-23-4830

E-mail : [rsa34375@nifty.com](mailto:rsa34375@nifty.com)

